

基本方針2 市域全体での読書環境の整備

基本方向5 就学前施設・学校の読書環境の充実

基本施策⑦ 就学前施設における読書環境の充実

計画該当ページ P36

1. 事業概要

(1) 目的・趣旨

こどもの頃の読書体験は未来社会を担うこどもたちの健やかな成長を確かなものにするために必要な要素であることから、就学前施設での読書環境の充実を図るため、司書が選書した就学前施設専用の絵本セットを巡回配本します。季節や行事、赤ちゃん向けなどのテーマ別の絵本を定期的に届けることでこどもたちの読書環境を整えます。

(2) 展開方法

- ・図書館の団体貸出を利用して、移動図書館で各施設に3カ月に1回程度巡回

- ・巡回時に、おすすめ絵本のセット「あおばなセット」を貸出

(3) ポイント

- ・令和7年9月から順次配本を開始(現在2巡目(春用)巡回中)

- ・貸出専用カードを作成し、図書館で管理

【参考データ】

市内就学前施設に在籍するこどもの数:5,557人(R7年3月末)

配本冊数:4,300冊

一人当たり0.77冊配本 (4,300冊÷5,557人=0.77冊)

2. 予算(令和8年度)

※現在予算査定中

単位:千円

		予算額	前年度比	備考
総事業費		104	▲ 2,434	新規開設3施設分
内訳	消耗品費	12	▲ 490	ICタグ、トートバック
	燃料費	0	▲ 18	
	手数料	2	▲ 42	装備
	備品購入費	90	▲ 1,884	図書資料

3. 今後の予定

令和8年度 新設3施設配本

令和9年度以降 新設施設があれば随時配本



あおばなブック専用トートバッグ



あおばなブックセットの例「赤ちゃんセット」



移動図書館あおばな号

基本方針2 市域全体での読書環境の整備

基本方向6 地域における読書環境の充実

基本施策⑨ 図書館のサテライト機能の充実

計画該当ページ P37

1. 事業概要

(1) 目的・趣旨

地域の拠点である地域まちづくりセンター(全14施設)や隣保館(全4施設)にブックトラックを置いて読書ができるスペースをつくとともに、図書館の本を借りることができたり、移動図書館の巡回を行うことで、地域の身近な場所で気軽に読書ができる場と機会を整えることで、市域全体で読書を楽しむことができる環境づくりを進めます。

(2) 展開方法

- ・図書館からまちセンに100冊貸出し、ブックトラックに設置
- ・まちセンから利用者に貸出することが可能
- ・3か月に1回、主に移動図書館(わかくさ号)巡回時に本を入れ替え

(3) ポイント

- ・R7年度の導入は図書館から遠い常盤・老上西・志津南まちセンから行う。(令和7年10月から実施済)
- ・移動図書館の配車ルートの変更(4月・10月)に合わせて巡回ルートに入れることを基本とする。
- ・R8以降も図書館から遠いセンターを基本に、施設の建替え等を勘案しながら順次導入を進める。

2. 予算(令和8年度)

※現在予算査定中

単位：千円

		予算額	前年度比	備考
総事業費		1,155	+624	7施設分
内訳	消耗品費	81	+10	ICタグ
	手数料	24	+14	装備
	備品購入費	1,050	+600	図書資料

(生涯学習課分除く)

3. 今後の予定

令和8年度以降

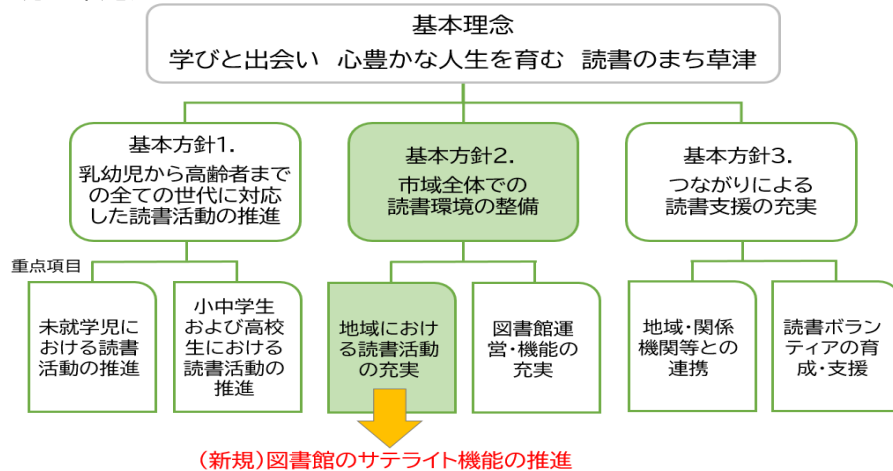
地域まちセンおよび隣保館に順次導入予定

図書館サテライト除幕式
(令和7年10月2日)図書館サテライトの
ブックトラック (100冊)移動図書館「わかくさ号」
巡回の様子

1. 草津市読書のまち推進計画について

《計画策定の趣旨》

人生100年時代を迎え、市民誰もが読書に親しみ、生涯にわたり学び心豊かに過ごすことができる「読書のまち」を目指し、全世代・全市域で総合的に読書活動を推進するため、従来からある「草津市子ども読書活動推進計画」と「草津市の図書館運営計画」を内包した「草津市読書のまち推進計画」を7月に策定。



2. 図書館のサテライト機能とは

《目的》

地域まちづくりセンター・隣保館に読書ができるスペースを作るとともに、図書館に行かなくても地域で本を借りることができる仕組みを導入します。身近な地域で気軽に読書ができる場と機会を整えることで、市域全体で読書を楽しむことができる環境づくりを進めます。

《背景》読書に関する市民アンケートの結果から

- ・読書が好き・好きではない要因
⇒「身近な場所に本がある環境」の有無が影響
- ・どのようなことをすればもっと読書を行うか
⇒「身近な地域で本がある環境づくり」が大切である：52.3%
⇒「読書を楽しめる場の提供」が大切である：52.2%

《事業概要》

- ・地域まちづくりセンター・隣保館に本棚を置き、団体貸出により図書館から借りた100冊を本棚に配置
- ・本棚に配置した本はまちづくりセンターから利用者に貸出可能

3. 地域まちづくりセンター・隣保館での対応 依頼事項

図書館のサテライト機能の充実

- 図書館からまちセンに団体貸出
- その本をさらにまちセンから市民に貸出可能
- 3か月に1回移動図書館（わかさ号）巡回時に入れ替え

①ブックラックの設置

- ・可動式の本棚2台：生涯学習課が設置
⇒まちづくりセンターの蔵書と混ざらないよう
- ・本100冊：図書館の団体貸出制度を利用
⇒本のジャンル等、希望に応じます（100冊の選書は基本的に司書が対応）

②利用者への貸出・返却対応

- ・貸出簿への記入：基本様式あり
⇒既に貸出を実施している場合は変更不要
利用者のセルフサービスでも可
- ・100冊入替時に本が揃っているか確認
⇒未返却がある場合は利用者に連絡
100冊の確認がしやすいよう市で対策

③移動図書館のステーション

- ・1か月に1回：まちづくりセンターの駐車場に約30分間滞在（本のリクエスト個人対応可）
- ・3か月に1回：ブックラックの100冊の交換

移動図書館のステーションとしての機能

- 1か月に1回移動図書館（わかさ号）が巡回（巡回時に約30分間滞在し、近隣住民に本の貸し出しをします。）

※わかさ号のサイズ
4トン車
長さ484cm×幅188cm×高さ249cm
（本棚開時：長さ619cm×幅398cm）

4. 実施スケジュール

●サテライト機能導入順

	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
地域まちづくりセンター	志津南 老上西 常盤	今後各センターと調整させていただきます	

- ・R8上期：既に移動図書館が巡回するセンターから調整⇒4月or7月以降開始
- ・R8下期：移動図書館の巡回ルートに組み込み⇒10月から開始
- ・R9以降はセンターの意向やリニューアルのスケジュールに合わせて調整

4. 周知策について

- ★地域広報誌挟み込みによるチラシ全戸配布↓
- ★市HPでの周知
- ★生涯学習課イベントでチラシ配布
- 地域広報誌への記事掲載
- 公式ラインでの周知
- センターイベントでの周知
⇒読み聞かせ(ボランティア)
中学生によるビブリオトーク



図書館のサテライト機能を推進します! **老上西が草津市初!**

場所: 老上西まちづくりセンター サロン
開始日: 10月2日(木) 13:40~
 初日記念イベントにもぜひお越しください! /
 13:50~ ブックトラックのお披露目
 14:05~ 「ぼけっと」による読み聞かせ(約20分)
 これまでより本が身近に!

✓ **地域まちづくりセンターで読書ができる!**
 図書館から選りすぐりの100冊を本棚2台に常備!センター内でゆっくり読書を楽しめます。(本は3か月に1回、入れ替えを行います。)

✓ **本を借りることもできる!**
 図書館の貸出カードがなくても、貸出票への記入のみで借りることができます。

✓ **1か月に1回、移動図書館も巡回!**
 移動図書館では、個人のご要望の本を受付することができます。

移動図書館の巡回日はこちら→
 (毎月第1木曜 13:40~14:10)
 ※例外がございます。巡回日の詳細は各の二次元コードからご確認ください。

お問い合わせ先
 草津市教育委員会生涯学習課(TEL: 077-561-2427)
 草津市立図書館 (TEL: 077-565-1818)

5. 利用状況

	10月		11月		12月	
	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数
志津南	12	16	16	23	17	21
老上西	14	17	7	12	8	13
常盤	3	6	6	12	6	14

志津南

・貸出はコロナ禍から続けているが、ブックトラック設置後は全体的に**貸出数が増えた**。(8月:6人・6冊、9月:5人・17冊)

老上西

・全戸配布のチラシを見て、サテライトを目的に来てくれた方がいた。
 ⇒**新規来館者の獲得**
 ・貸出目的で**リピート来館**してくれる方が多い。

常盤

・サテライト導入前もセンターの蔵書を貸し出していたが、新しい本があるため**今までは利用していなかった人の利用があり**貸出数が増えた。
 ・**借りなくてもサロンで読んでくれている方もいる**。

6. 展開状況



サロンにブックトラックを設置



地域まちづくりセンター内で図書館の本が読めます



ゆっくり読みたい本は借りられます



移動図書館でも本が借りられます(巡回は毎月)



読み聞かせボランティアさんによる絵本の読み聞かせ

基本方針2 市域全体での読書環境の整備
 基本方向7 図書館運営・機能の充実
 基本施策⑪ 利用者支援サービスの充実

計画該当ページ P39

1. 事業概要

(1) 目的・趣旨

今まで図書館を利用したことのない方の図書館来館のきっかけとなるように毎月第3土曜日にさまざまなイベントを行うことで、読書に関心のない人に興味を持ってもらい、図書館に親しみを持ってもらう契機となるようにします。

(2) 展開方法

おはなしのじかん、おはなし会、ビブリオバトル、ビブリオトーク、読書講演会、えほんのひろば、あおぞら図書館、キッチンカー出店など、これまで行っていた行事やイベントを毎月第3土曜日に集約して行う。また、読書ボランティアや中高生、他課、他機関との連携も拡充していく。

(3) ポイント

- ・図書館DAYは令和7年11月3日(月・祝)から実施し、12月以降は毎月第3土曜日に実施する。
- ・第3土曜日に図書館に行けば、何かイベントをしているというイメージを定着させることで、来館の動機づけとする。

【参考】令和7年11月3日の図書館DAY

- ・ファッション&メイクコンサルタント谷口美佳さんの講演会
- ・ビブリオバトル
- ・書庫ツアー
- ・黒板アート
- ・絵本交換会
- ・キッチンカー など

2. 予算(令和8年度)

※現在予算査定中

単位：千円

		予算額	前年度比	備考
総事業費		0	▲ 237	
内訳	報償費	40	▲ 60	市民読書講座
	備品購入費	0	▲ 177	

3. 今後の予定

令和8年度以降 図書館DAYの来場者数を増やす



ビブリオバトル

おはなし研究会による
こどものおはなし会と
大人のおはなし会

書庫ツアー



黒板アート



絵本交換会



キッチンカーやお店の出店

読書のまち推進事業
第1回図書館DAY講演会

図書館DAY（令和7年11月3日）の様子

基本方針3 つながりによる読書支援の充実

基本方向9 地域・関係機関等との連携

基本施策⑬ 地域の拠点施設・書店や団体との連携

計画該当ページ P42

1. 事業概要

(1) 目的・趣旨

読書離れの進行と書店の閉業が加速する昨今においては、人と本が出合う経路として書店・図書館が連携して読書推進を行うことが求められ、経済産業省および文部科学省も事業支援を行っています。本市には7店舗の書店があり、各書店のニーズや客層に合わせた連携事業を展開することで、書店・図書館の両側から市民の読書活動を支え、読書人口を増加させることに寄与します。

(2) 展開方法

- ・意見交換会議の定期開催(年3回)。
 - ・令和7年度は、連携事業第1弾として「読書ポイント事業」に新ポイントステーションとして参加。
 - ・図書館ビブリオバトルを書店内で開催。
- (3) ポイント
- ・書店と図書館で相互に広報協力を図り、協働の関係づくりを行う。
 - ・書店内でのイベント共催や読書推進キャンペーン等を開催する。
 - ・市民活動とのコラボ展開が生まれるように仕掛けていく。

2. 予算(令和8年度)

※現在予算査定中

単位：千円

		予算額	前年度比	備考
総事業費		0	▲ 105	読書のまち草津周知用
内訳	消耗品費	0	▲ 105	

3. 今後の予定

令和8年度以降 イベント共催の機会を増やす
読書ポイント事業に体験型景品を提供いただく

読書ポイント事業フロー

- ①学校図書館や図書館(移動図書館も含む)で本を借りる、または市内書店で本を買う。
- ②スタッフを押してもらう。
- ③ポイントがたまったら、学校図書館や図書館、市内書店に置いてある応募ボックスへ。→抽選で景品が当たるかも?!



書店内での図書館ビブリオバトル (9/20)